



もんぜんろくちょう

タイトルの3つの色は、鬼すべの際の誓固・鬼係・燻手の法被の色をイメージしたものです。

小鳥居小路～溝尻

水路整備・道路美装化の完成

水路・散策路の整備

幸ノ元溝尻水路の復活

●小鳥居小路から溝尻までの環境整備

これまで小鳥居小路溝尻水路について、小鳥居小路の皆さんと「小鳥居小路の魅力づくり」についてワークショップを重ねてきました。結果、種々の魅力が出されました。と共に問題・課題も出てきました。しかしながら、即座に問題・課題を解決するには困難があり、まずは水路に流れを取戻し、道路を美装化することにより、参道を往来する観光客を小鳥居小路に呼び込んで、通りの活性化を図っていく方向性が選択されました。

道路の美装化工事は、「半たわみ性舗装」を行い、表面に切り込みを入れることにより、参道の石畳舗装と似たような石畳風の風情に仕上げ、参道の参詣客の目を小鳥居小路の方へ向けようとするものです。

一方、水路については、全ての石蓋を開け水路を見ていただくことを考えましたが、住んでいる方々の生活や店舗の営業面、散策者と通過車両などの安全面を考慮し、蓋を開ける箇所は、同意が得られた3箇所と、蓋を外した箇所への転落防止措置を行いました。今後、水路の蓋を開けることについては、住んでいる皆さんの地域活性化のための素材として、水路活用への要



●幸ノ元水路および散策路の環境整備

連歌屋交差点より三条区「あいさつ通り」を経て、「養護老人ホーム双葉」までの幸ノ元水路沿いの道路及び散策路を整備しています。この散策路は、小鳥居小路から三条の「三浦の碑」ま

での回遊性を促す路として整備するもので、完成後は水の流れや音を感じながら散策してもらえればと思います。

平成15年の災害時に壊れた幸ノ元井堰の代用として、これまで「ふれあい広場」の一隅よりポンプアップにて水を上げていましたが、管理

に手間がかかるとの要望に応え、旧堰より上流の堰から堤外水路を設置し、自然取水することで管理をしやすくする方法で施工することとなりました。通水の予定は、平成28年5月ごろになります。

散策路に沿って、地域の人々により祀られてきた「庚申さま」「大日さま」「夜泣き石地藏さま」や「石碑」などたくさんの文化遺産が存在します。

完成後は、散策路を通っていただき、地域の信仰の篤さを感じながら「連歌屋」「三条」の再発見をしてみてもは如何でしょうか。

■小鳥居小路の整備【右上：夜の姿】



※図中の番号は、写真番号を付した文化遺産がある場所を示しています。



①「岩踏川」石碑

※「岩踏」の読みは、「いわふみ」「いわぶち」の両者が伝えられています。



②大日堂・庚申塔・毘沙門堂



③薬師堂



④夜泣き石地藏堂



⑤三浦潮井の碑



■江戸時代に描かれた名所絵「岩踏川」
ちくぜんめいしやうがふ
『筑前名勝画譜』より【国立公文書館所蔵】
江戸時代の太宰府の名勝地として知られていました。

通り名の命名

〈小町恵比須通り〉

昨年、えびす会をはじめとする地域の人々は、小鳥居小路から宮の前町へ抜ける通りを

「小町恵比須通り（こまちえびすどおり）」

と名付けられました。小町は小鳥居小路の通称の呼び名であり、角地に恵比須神が祀られているところからの名称だそうです。

この「恵比須神」は、文化7年（1810）に建立され、小鳥居小路の商売繁盛の神様として今日まで崇拝されています。

恵比須祭は、毎年12月2日から翌日までの2日間「えびす会」の皆さんにより催されます。



●小町恵比須通り

●恵比須祭



もんぜんろくちょう お知らせ4

編集・発行 太宰府天満宮門前六町まちづくり協議会
【事務局 太宰府市建設経済部
都市計画課 景観・歴史のまち推進係】
発行日 平成28年2月29日